

2023 年度 地域連携室活動計画

昨年度と同様に、2022 年度は新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながらの地域連携室の活動となった。2023 年度も引き続き、本学における感染対策方針及びマニュアルを遵守し、学生、教職員、関係者が安心・安全のもとで地域貢献活動に取り組めるよう、地域連携室としての活動を展開していきたい。

【A 地域貢献活動実施のための環境整備に関する事項】

項目	具体的内容
1. 地域貢献活動交流会の実施【継続】	2023 年度に取り組んだ地域貢献活動の報告会を実施し、関係者の意見交換や情報共有を行う（3 月実施予定）。
2. 地域懇談会の実施【継続】	地域貢献活動と地域連携室の運営に関して学外構成員より意見を伺い、今後の参考とする。なお、学外構成員は地域貢献活動交流会も参加予定。
3. 『地域活動論叢』刊行とホームページ掲載【継続】	地域貢献活動の報告書『地域活動論叢』の刊行とホームページへの掲載を行う。
4. 商船三井テクノトレード株式会社及び MOTENA-Sea 株式会社との連携プロジェクトに係る受託契約の更新【継続】	商船三井テクノトレード株式会社及び MOTENA-Sea 株式会社との連携プロジェクトに係る受託契約を更新し、当該プロジェクトの取り組みを推進する。
5. 「地域連携室の運営に関する要項」(大学規定集)の一部見直し【継続】	地域連携室の運営実態に即した内容となるよう「地域連携室の運営に関する要項」の一部見直しを行う。
6. SDGs の導入【継続】	地域貢献活動の各取組みについて、SDGs との関連を明確にする（活動申請書への記載）。

7. 地域連携室についての学内周知の強化【継続】	地域連携室の機能、役割、取組みについて学内周知を強化するとともに、ガイドラインや申合せを遵守した地域貢献活動への理解を促進する。
8. 活動申請に係る負担の軽減【継続】	活動申請に係る書類の作成・提出について関係部署と協議し、内容や手続きの整理を行う。
9. 地域貢献活動日の設定の是非と可能性の検討【継続】	地域貢献活動日を設置することの是非と現実的な可能性について検討する。

【B 地域連携室の組織強化と活性化に関する事項】

項目	具体的内容
1. フードドライブキャンペーンの実施【継続】	NPO 法人フードバンク北九州主催による「フードドライブキャンペーン」への参加・協力を行う。
2. ワーキンググループ (WG) への支援と活動活性化のための環境整備【継続】	女性活躍 WG によるセミナー（「小倉城庭園で楽しむ日本と中国のお茶文化」）と同窓生パネルの制作、子ども子育て WG による公開講座への支援・協力を行う。また WG への室員の参加・協力を促す。
3. 学生スタッフの育成と活動の場の提供および支援の充実【継続】	地域連携室学生スタッフの募集と具体的な活動の展開を支援する。

【C 連携活動】

項目	具体的内容
1. 市民カレッジの学内開催と講師派遣【継続】	市民カレッジの企画案の作成と講座の実施・運営を行う（2023年度の担当は保健福祉学部）。
2. 商船三井テクノトレード株式会社及び MOTENA-Sea 株式会社との連携プロジェクトに係る連絡調整・活動サポート【継続】	商船三井テクノトレード株式会社及び MOTENA-Sea 株式会社との連携プロジェクトに係る連絡調整・活動サポートを行い、当該プロジェクトの取り組みを推進する。

【D 広報活動】

項目	具体的内容
1. Facebook の運用【継続】	Facebook を通じた地域貢献活動の広報・情報発信を行う。
2. 地域貢献活動ポスターの掲示及び Blog への掲載【継続】	地域貢献活動を紹介するポスターの作製と学内での掲示、Blog への掲載を行う。
3. 広報・周知につながるグッズ作製の検討【継続】	地域連携室及び地域貢献活動の広報・周知につながるグッズの作製を検討する。

【E その他】

項目	具体的内容

※【継続】は前年度に引き続き取り組む活動